

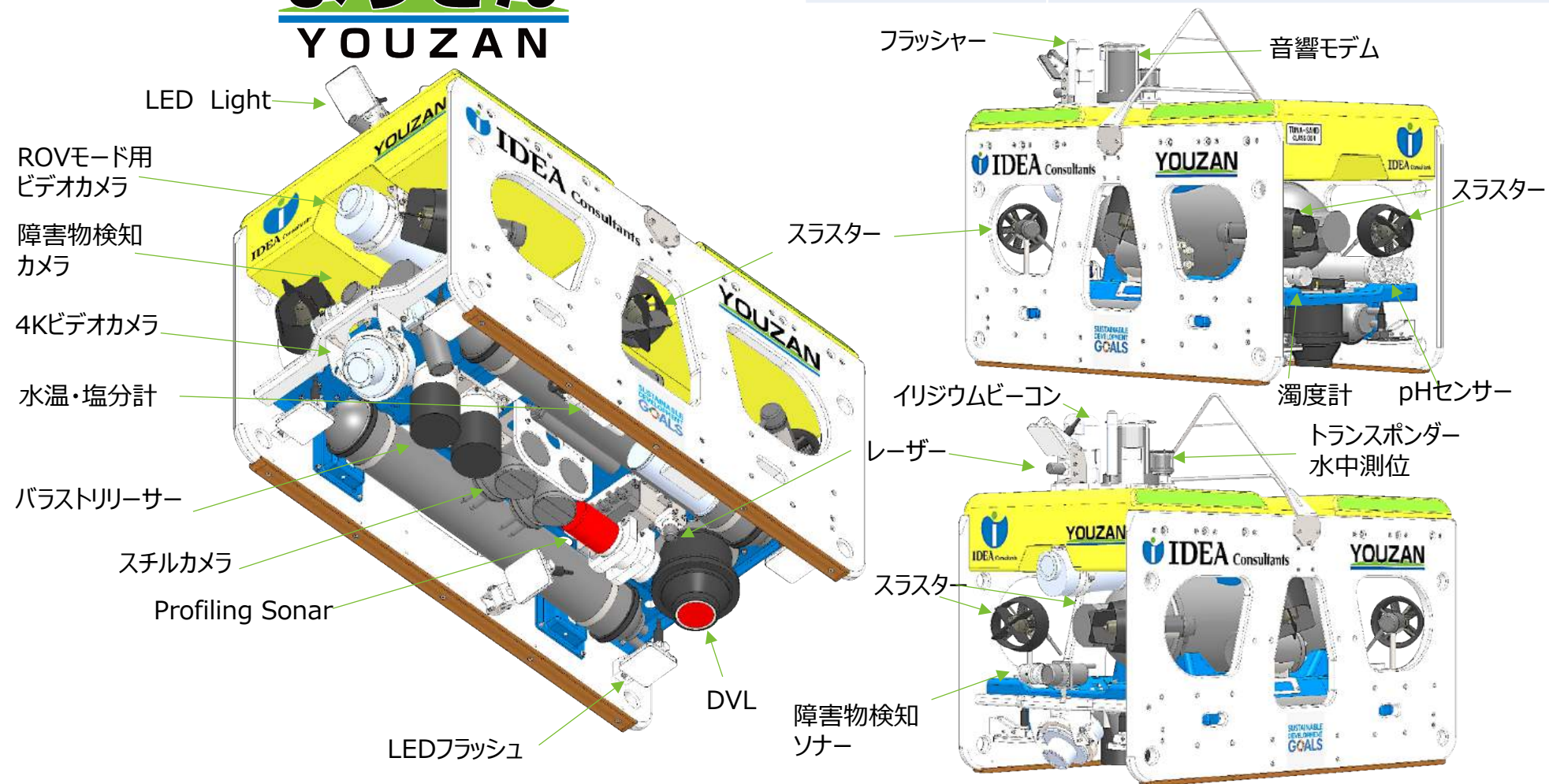
# 「TUNA-SAND」級ホバリング型AUV「YOUZAN」

東京大学生産技術研究所が開発した、ホバリング型AUV「TUNA-SAND」クラスの民間商用化第1号となるAUVである。東京大学生産技術研究所、九州工業大学社会ロボット具現化センター及び海上技術安全研究所より、技術移転を受け、民間として初めて導入した。

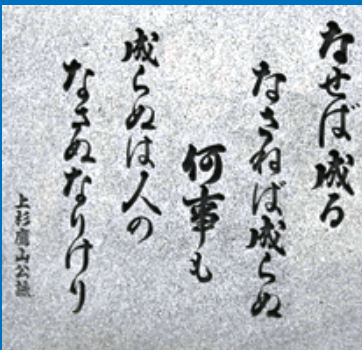


項目	仕様
寸法	長さ1.3m×高さ0.77m×幅0.7m
重量	275kg
最大潜航深度	2,000m
巡航速度	0.2~0.3m/s
最大航行速度	0.62m/s
最大潜航時間	8時間
スラスタ	水平4機、垂直2機
写真撮影	スチルカメラ2機、LEDフラッシュ4灯
動画撮影	4Kカメラ、常時点灯LED2灯 ROVモードカメラ
観測項目	プロファイリングソナー(海底地形) 濁度計 水温・塩分計 pHセンサー 障害物検知ソナー 地形観測用カメラ・レーザー

## ようざん YOUZAN



上杉鷹山(1751~1822)



『なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり』  
この言葉は江戸時代後期、米沢藩主の上杉鷹山が家臣にこの歌を教訓として詠み与えたというのは有名な話で、“できないのは人がやらないからだ”との教え。

少子高齢化が進む現代においては、“人が出来ないことはロボット(AUV)がやることだ”との思いを含め、

「TUNA-SAND」級ホバリング型AUV「YOUZAN」誕生